



## 「コロナ禍」を超えて

北海道高等学校PTA連合会  
会長 海東 剛哲

この度、会長に就任いたしました海東剛哲です。

私たち道高P連は、本会が主催する諸事業や関係機関との連携を通じて、次世代を担う高校生一人ひとりの健全な成長と、生涯学習社会におけるPTA会員の資質能力の向上を目的に活動してまいりました。

さて、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、約3箇月にわたる休校と外出自粛を余儀なくされ、6月からは通常の学校生活を取り戻しつつありますが、未だ予断は許されない状況が続いています。

このような時こそ、我々PTAが一致団結して、学校と家庭の生活両面において、この難局に立ち向かい、「コロナ禍」の影響を少しでも軽減するよう努めなければなりません。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

この「会報第3号」に合わせて、刷新された本会のホームページもご高覧いただき道高P連、支部、単Pの活動等についての情報を活用してくだされば幸いです。

## 令和2年度の事業計画概要

総 会

6月20日（土）〔理事会で代替し書面議決〕

高等学校教育振興対策事業

高校教育関係部局との懇談

健全育成事業

高校生と語るつどい

石狩、後志、旭川、留萌、名寄、胆振、日高の7支部で開催

高校生ICT Conferance 2020 in 北海道への協力（札幌市、帯広市）

研修事業

第70回北海道高等学校PTA連合会大会石狩大会〔中止〕

社会教育振興事業

進路対策事業

経済団体への新規高卒予定者の雇用確保、インターンシップ協力要請

調査広報事業

ホームページの刷新

高P連会報第3号発行

顕彰事業

功績団体・特別功績者表彰、功績者表彰、感謝状の贈呈

## ホームページのリニューアル

昨年デザインを一新しましたホームページをさらに見やすく多くの情報を掲載できるように刷新します。

多くの会員の皆様にご覧いただけることを期待します。

スマホからも閲覧可能ですので、ご活用ください。

HP <https://www.hokkaido-koupren.com/>



# 道高P連会報

第3号

令和2年8月20日

北海道高等学校PTA連合会

〒060-0005

札幌市中央区

北5条西6丁目1番

第二道通ビル

Tel 011(232)0007

Fax 011(232)0006



## 令和2年度 北海道高等学校PTA連合会総会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会則第16条第4項により理事会で代替することとし、さらに、これを書面議決で実施することとしました。

6月4日、新井田会長より理事に総会議案を送付し書面による表決を求めました。

6月20日、全役員により、理事から提出された書面表決書の確認を行ったところ、全議案とも理事全員（24名）の承認の意志が示されたことから、会則第15条第2項を適用し総会議決としました。

### 議案

#### (1) 第1号議案 「令和元年度事業報告・収支決算報告」

元年度の会務と事業概要、一般会計及び特別会計決算報告及び会計監査報告に基づく提案を承認しました。

#### (2) 第2号議案 「令和2年度役員の選任」

役員選考委員会から推薦された令和2年度役員候補（会長、副会長5名、監事3名）の選任が承認されました。

#### (3) 第3号議案 「令和2年度事業計画・収支予算」

2年度の事業計画（会議、高校教育振興対策事業、健全育成事業、研修事業、進路対策事業、調査広報事業、健康安全対策事業、表彰事業、各支部との連携、北海道庁及び北海道教育委員会等の教育関係機関が設置する各種審議会等への役員の派遣）及び一般会計予算案、各特別会計予算案（退職金積立金・保険制度・団体助成事業・高校生健全育成事業・特別損失基金）の提案を承認しました。

### 報告

道高P連会則施行細則及び道高P連表彰規程の一部改正、次年度以降の道高P連総会・全道大会主管支部について報告されました。

## 道高P連根室支部の事業に効果的に活かす学校や単Pの取組

令和元年度の支部事業を紹介します。5月には支部総会に続いて、参加者によるポー川史跡自然公園の地域巡検が開催されました。ポー川史跡自然公園は湿原の豊かな植生と古代の人々の生活の跡が随所に見られるのが特徴で、参加者はビジターセンターで出土品などを見学した後、木道を進みながらコケモモなどの湿原性植物を観察したり、古代人の住居跡付近では冬季でも凍らない湧水に手を浸すなど、自然と人間の営みを実感できる巡検となりました。ネイチャーガイドは標津高校の生徒が務め参加者からは分かりやすい説明だとの感謝の声がありました。地域巡検の後には会場を替えて懇親会が行われ、豊かな海産物に舌鼓を打ちながら親交を深めました。

9月の「高校生と語るつどい」では、各校のPTAと生徒を合わせ73名が参加して、HUG（避難所運営ゲーム）を行いました。HUGでは高齢者や病弱者、ペットを連れた人など様々な避難者や、避難所の生活環境など、多くの事柄への対応が必要となります。議論の中では「うちの学校だったら、うちの地域では、うちの職場なら・・・」という声が随所で聞こえ、生徒だけで行うHUGでは現れないそれぞれの世代や地域の視点が加味された活発な意見交換となりました。参加者にも防災意識が広がり、意義深い研修となりました。また、休憩時間には災害非常食の試食も行われるなど、行き届いた事業運営には高い評価が寄せられました。

単Pの活動には、学校の特色ある教育活動の理解の上に立って、それをより質の高いものとするための支援・協力も欠かせません。今号の標津高校PTAの取組のように、根室支部では学校の教育活動とそれを支援する単Pの活動を生かしながら、毎年、充実した支部事業が展開されています。

この記事は全国高P連会報（令和2年5月発行）に掲載されたものです



令和2年度  
北海道高等学校  
PTA連合会 役員名簿

役職名	氏 名	所属校等	備 考
会 長	海東 剛哲	留 萌	全国：理事、研修委員
副 会 長	森 政徒	札幌 英 藍	全国：進路対策委員
副 会 長	高橋 憲司	苫 小 牧 西	全国：調査広報委員
副 会 長	池邊 泰子	北 広 島	安全互助会担当
副 会 長	村井 為敦	旭 川 東	全国：健全育成委員
副 会 長	廣田 定憲	札幌 幌 南	
監 事	山木 傑	滝 川 西	
監 事	奈良 賢祐	釧 路 北 陽	
監 事	五十嵐智美	恵 庭 南	
理 事	吉光 紀喜	札幌 平 岡	
理 事	瀬谷 寛嗣	国 際 情 報	
理 事	梨木 希望	市 立 函 館	
理 事	彫谷 泰嗣	小 樽 潮 陵	
理 事	横山 早苗	深 川 西	
理 事	小野寺公男	旭 川 南	
理 事	大滝 英治	留 萌	
理 事	三浦 大樹	稚 内 大 谷	
理 事	前田 敏治	網 走 桂 陽	
理 事	堀川 貴庸	帯 広 南 商	
理 事	張 愛心	武 修 館	
理 事	福原 輝彦	標 津	
理 事	伊藤 義幸	室 蘭 工 業	
理 事	遠藤 卓	静 内	
理 事	田尻 勝敏	札幌 幌 東	
理 事	宮澤 一	岩 見 沢 緑 陵	
理 事	吉野 光	野 幌	
理 事	加澤 雅裕	小 樽 潮 陵	
理 事	平田 嘉宏	札幌 月 寒	
理 事	小松 信夫	札幌 平 岡	
理 事	阿部 穰	札幌国際情報	
常 任 理 事	瀧澤 共喜	札幌 幌 東	
常 任 理 事	坂井 秀昭	札幌 北	

道高P連事務局		道高安全互助会事務局	
事 務 局 長	井村 美彦(兼)	事 務 局 長	井村 美彦
事務局次長	伊藤 陽司	事務局次長	青陽 哲也
事 務 局 員	小田島美香	事務局次長	永井 進

収支予算書

一 般 会 計

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	20,110,000	20,520,000	△ 410,000
補助金等収入	296,300	302,600	△ 6,300
雑収入	700	400	300
他会計からの繰入金収入	8,007,000	8,007,000	0
事業活動収入計	28,414,000	28,830,000	△ 416,000
2. 事業活動支出			
事業費支出	13,020,000	13,370,000	△ 350,000
広報活動事業費	2,300,000	2,450,000	△ 150,000
高校生と語るつどい事業費	2,500,000	3,000,000	△ 500,000
社会教育活動振興事業費	2,050,000	950,000	1,100,000
健全育成活動事業	3,650,000	3,650,000	0
委員会活動事業費	200,000	200,000	0
地区助成事業費	800,000	800,000	0
表彰事業費	720,000	520,000	200,000
大会助成事業費	800,000	1,800,000	△ 1,000,000
管理費支出	23,350,000	24,150,000	△ 800,000
給料手当支出	7,300,000	7,300,000	0
福利厚生費支出	1,200,000	1,200,000	0
理事会議費	2,100,000	1,900,000	200,000
支部事務局長会議費	0	300,000	△ 300,000
旅費交通費支出	2,600,000	3,000,000	△ 400,000
通信運搬費	1,400,000	1,400,000	0
消耗品費支出	1,000,000	1,100,000	△ 100,000
修繕費支出	200,000	200,000	0
印刷製本費支出	500,000	600,000	△ 100,000
光熱水料費支出	200,000	200,000	0
賃借料支出	2,600,000	2,700,000	△ 100,000
負担金支出	3,750,000	3,750,000	0
雑支出	500,000	500,000	0
他会計への繰出金支出	60,000	90,000	△ 30,000
事業活動支出計	36,430,000	37,610,000	△ 1,180,000
事業活動収支差額	△ 8,016,000	△ 8,780,000	764,000
II 予備費支出	182,950	785,602	△ 602,652
予備費支出	182,950	785,602	△ 602,652
当期収支差額	△ 8,198,950	△ 9,565,602	1,366,652
前期繰越収支差額	8,198,950	9,565,602	△ 1,366,652
次期繰越収支差額	0	0	0

第70回  
北海道高等学校PTA連合会大会  
(旭川・留萌・名寄大会)

期 日 令和3年6月12日(土)・13日(日)  
会 場 旭川市民文化会館  
(旭川市7条通9丁目)  
主 管 旭川・留萌・名寄支部

第70回  
全国高等学校PTA連合会大会  
(島根大会)

期 日 令和3年8月24日(火)・25日(水)＜予定＞  
会 場 島根県松江市、安来市、雲南市、出雲市  
主 管 島根県高等学校PTA連合会

## 令和元年度 高校生と語るつどい事業

- ・石狩支部 11月16日 (土) 13:00～ 北広島高校  
参加校 北広島西高、恵庭北高、千歳高、千歳北陽高、北広島高  
参加者数 60名
- ・道南支部 10月26日 (土) 9:00～ 函館商業高校  
参加校 市立函館高、函館工業高、函大有斗高、遺愛女子高、  
函館商業高  
参加者数 46名
- ・空知支部 9月21日 (土) 10:00～ 美唄尚栄高校  
参加校 月形高、美唄尚栄高、美唄聖華高、奈井江商業高、砂川高  
参加者数 39名
- ・北見支部 12月14日 (土) 12:00～ 遠軽高校  
参加校 紋別高、湧別高、佐呂間高、興部高、雄武高、遠軽高  
参加者数 62名
- ・十勝支部 12月7日 (土) 9:00～ とかちプラザ  
参加校 帯広柏葉高、帯広三条高、帯広緑陽高、帯広農業高、  
帯広工業高、幕別清陵高、白樺学園高、帯広南商業高  
参加者数 58名
- ・釧路支部 10月5日 (土) 12:30～6日(日) ネイパル厚岸  
参加校 釧路湖陵高、釧路江南高、釧路明輝高、阿寒高、  
釧路商業高、釧路東高、弟子屈高、厚岸翔洋高、  
霧多布高、武修館高、釧路北陽高  
参加者数 72名
- ・根室支部 9月28日 (土) 13:00～ 標津町生涯学習センター  
参加校 根室高、別海高、羅臼高、中標津高、中標津農業高、標津高  
参加者数 73名



## 令和元年度 社会教育振興事業

- ・石狩支部 10月15日 (火) 13:30～ ホテルライフオー・札幌  
講演 山本シュウ 「人を育てるコミュニケーション」  
参加者 230名
- ・空知支部 11月23日 (土) 15:00～ 美唄ホテルスエヒロ  
講演 川原尚行 (ロシナンテス)  
「ロシナンテスのスーダン・ザンビアでの医療支援活動」  
参加者 97名



## 令和元年度 道高P連委員会の活動

道高P連理事会に設置されている4委員会の活動をご紹介します。単Pの活動には終了した活動も含まれています。

### ◆健全育成委員会

学校での携帯電話使用の利点や問題点についての協議などのほか、北見柏陽高校で実施された卒業時の親子のメッセージの交流冊子「一筆啓上」、岩内高校のPTAや地域の人々と生徒の語り合い「3年生思春期教室」などの単Pの実践を研究しました。

### ◆研修委員会

道高P連全道大会の大会主題を「新時代をひらく若者を共に支えよう」に改定し、全道大会講演テーマについて全国地区大会を参考に協議しました。また、函館商業高校「ハーバリウム講座」、苫小牧西高校「川柳便」などの単Pの実践を研究しました。

### ◆進路対策委員会

高卒3年時点での離職率の統計の分析と対策等について協議したほか、北見北斗高校の保護者による職業ガイダンス文集「私の選んだ仕事そのきっかけと喜び」、帯広柏葉高校のPTAや卒業生による職業講話「柏葉塾」などの単Pの実践を研究しました。

### ◆調査広報委員会

刷新されたホームページの掲載記事の追加・更新の検討、全国高P連大会で展示する優良広報紙に旭川東高校、札幌厚別高校を選抜したほか、学校から保護者や生徒に向けた情報伝達方法について各校の取組について研究しました。